



# 株主のみなさまへ

## 中間期のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年3月期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日、以下、「中間期」)の概要をご報告申し上げます。

なお、中間配当金につきましては、1株につき7円(前年同期比 1円増配)と決定させていただきましたので、あわせてご報告申し上げます。

2019年11月

王子ホールディングス株式会社  
代表取締役社長

加来 正年



### 中間期の連結業績ハイライト

売上高	7,602億円	前年同期比	0.2%減
営業利益	556億円	前年同期比	1.7%増
経常利益	513億円	前年同期比	3.9%減
親会社株主に帰属する四半期純利益	288億円	前年同期比	7.8%増

### 連結業績等の推移

(注) 2019年度通期予想は2019年11月5日時点のものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

売上高・海外売上高比率



営業利益・売上高営業利益率



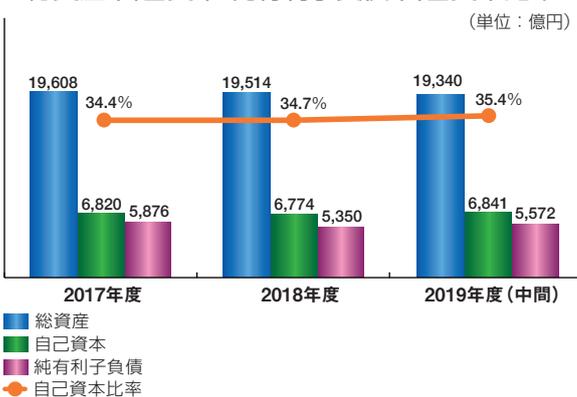
経常利益・売上高経常利益率



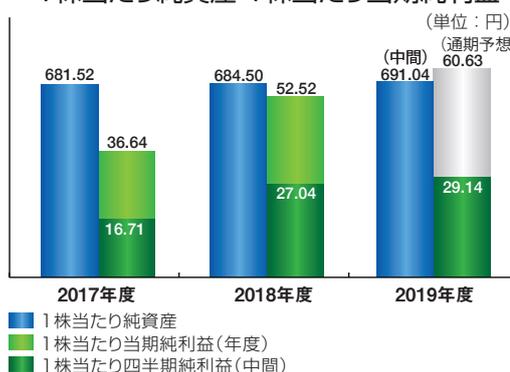
親会社株主に帰属する当期純利益・ROE



総資産・自己資本・純有利子負債・自己資本比率



1株当たり純資産・1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



## 中間期のセグメント別の営業の状況

### 生活産業資材

段ボール原紙・加工、白板紙・紙器、  
包装用紙・製袋、家庭紙、紙おむつ

売上高 3,422億円  
(前年同期比 2.9%増)  
営業利益 187億円  
(前年同期比 81.8%増)

構成比(%)

38.2

構成比(%)

33.7

国内事業では、段ボール原紙・段ボールは、青果物・食品・通販向け等が堅調に推移し、販売量が前年に対し増加しました。白板紙は、国内販売は、販売量が前年に対し減少しましたが、輸出版売は、前年並となりました。包装用紙は、国内販売は、輸出関連品の需要減等により、販売量が前年に対し減少しましたが、輸出版売は、前年に対し増加しました。紙おむつは、子供用の販売量は前年に対し増加しました。家庭紙は、春日井工場火災による操業停止影響等により、販売量が前年に対し減少しましたが、売上高は価格修正効果により前年に対し増加しました。

海外事業では、段ボール原紙は、東南アジアにおいて、販売量が前年に対し増加しましたが、売上高は市況軟化の影響等により減少しました。オセアニアでは、販売量が前年に対し減少しました。段ボールは、東南アジアでは、飲料・加工食品関連を中心に販売が堅調に推移しました。オセアニアでは、オーストラリアにおける新工場の稼働率アップにより、販売量が前年に対し増加しました。紙おむつは、マレーシア及び中国では、自社ブランド品の浸透により販売量が前年に対し増加しました。インドネシアでは、自社工場稼働に向けて拡販を継続していますが、前年は初期配荷により顧客の在庫増しがあったこともあり、販売量は前年に対し減少しました。



### 機能材

特殊紙、感熱紙、粘着、フィルム

売上高 1,082億円  
(前年同期比 2.1%減)  
営業利益 69億円  
(前年同期比 21.8%減)

構成比(%)

12.1

構成比(%)

12.5

国内事業では、特殊紙の国内販売向けは、新製品開発・新規顧客開拓を進めましたが、電子部品・半導体向けが全体的に低調に推移し、輸出版売向けは、中国・韓国経済の減速影響等により、販売量が前年に対し減少しました。感熱紙は、堅調に推移し販売量がほぼ前年並みでした。

海外事業では、感熱紙は、欧州において販売量が前年に対し減少しましたが、北米・南米では販売量が前年に対し増加しました。



### 資源環境ビジネス

パルプ、エネルギー、植林・木材加工

売上高 1,521億円  
(前年同期比 6.6%減)  
営業利益 219億円  
(前年同期比 32.7%減)

構成比(%)

17.0

構成比(%)

39.5

国内事業では、パルプ事業は、販売量が前年並みでした。エネルギー事業は、青森県八戸市においてエム・ピー・エム・王子エコエネルギー株式会社がバイオマス発電設備を稼働したことにより、売電量が前年に対し増加しました。

海外事業では、パルプ事業は、販売量が前年に対し増加しましたが、売上高は市況軟化の影響等により減少しました。



バイオマス発電プラント(エム・ピー・エム・王子エコエネルギー/青森県八戸市)

社有林(北海道)

### 印刷情報メディア

新聞用紙、印刷・出版・情報用紙

売上高 1,469億円  
(前年同期比 0.2%減)  
営業利益 29億円  
(前年同期比 — )

構成比(%)

16.4

構成比(%)

5.3

国内事業では、新聞用紙は、発行部数減及び頁数減の影響等により、販売量が前年に対し減少しました。印刷・情報用紙は、販売量が前年に対し減少しましたが、売上高は、価格修正効果により、前年に対し増加しました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司が印刷用紙の販売量を伸ばしましたが、売上高は市況軟化の影響等により減少しました。



### その他

不動産、エンジニアリング、  
商事、物流 他

売上高 1,456億円  
(前年同期比 1.6%増)  
営業利益 50億円  
(前年同期比 0.3%増)

構成比(%)

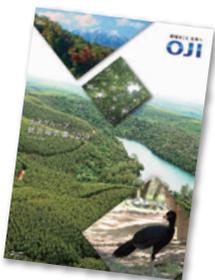
16.3

構成比(%)

9.0

(注)セグメント別の売上高および営業利益構成比(%)は、調整額(内部取引に関わる調整額等)を除いて計算しています。

## 統合報告書のご案内



ステークホルダーの皆様へ当社グループの事業概況、経営戦略等の財務情報と環境・社会・ガバナンス等の非財務情報をより詳しく、わかりやすくお伝えするために「王子グループ統合報告書2019」を発行いたしました。

本報告書にて、長期的な視点に基づいた会社の目標・戦略を明確にお伝えすることで、当社グループへの理解を深めていただけることを願っております。当社ホームページに掲載いたしておりますので、ご覧いただければ幸いです。



## トピックス

### ブラジルにおける感熱紙の生産設備増強

ブラジル(サンパウロ州ピラシカバ市)で感熱紙とノーカーボン紙の生産を行なっている王子パペイス エスペシアイス社において、2021年12月の完成予定で感熱紙の生産設備の増強を決定しました。当社グループは中期経営計画の中で「海外事業の拡充」を掲げ、その施策の一つとして南米での感熱紙事業の増強を進めております。

中南米では感熱紙の主用途であるPOSシステムや物流システムの普及、拡大により、感熱紙の需要は堅調に推移しており、今後もブラジル国内はもとより中南米全体で更なる需要拡大が見込まれます。今回の投資により得られる品質・コスト競争力を活かしてブラジルを含む中南米市場でのシェアアップを目指してまいります。



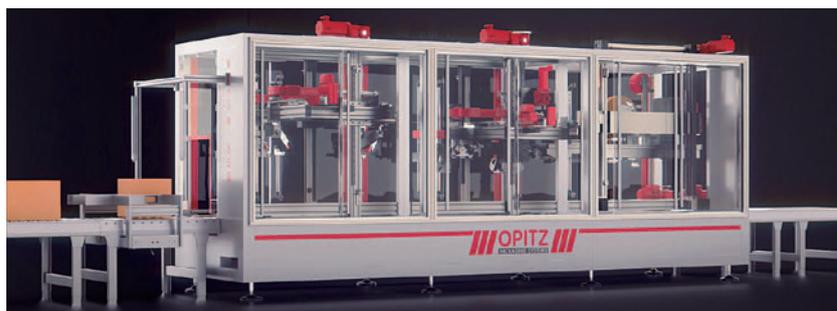
王子パペイス エスペシアイス社(ブラジル)

### 通販向け新規包装システム(高さ可変自動封函機)販売を開始

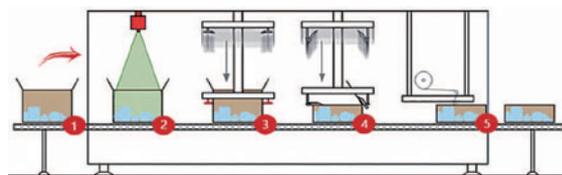
拡大を続ける通販市場に対応するため、大手小売メーカーの通販物流センター向けに新規包装システム(ドイツOPITZ Packaging Systems GmbH社製の高さ可変自動封函機「Vario558」)の販売を開始します。

内容物に合わせて箱の高さを自動調節できるため、高さ方向に無駄な空間の無い梱包が可能となり、緩衝材の低減や輸送コストの削減効果があります。また、1台で約20種の箱サイズをランダムに封函できるため、梱包作業も省力化されます。

このVario558について、当社はOPITZ Packaging Systems GmbH社とライセンス契約を締結しました。これまで約50年にわたり段ボール包装機、フィルム包装機の製造・販売を手掛けてきた経験を活かし、機械導入後のメンテナンスサービスを含め、お客様へのトータルソリューションを提供してまいります。



Vario558 外観



- ① 段ボール箱へ製品を投入
- ② カメラシステムでケース内の製品高さを検知
- ③ 製品高さに合わせて、箱のコーナーをカット
- ④ カットしたフラップを折り畳み
- ⑤ ガムテープによる封函

Vario558のプロセス

### 被災地への段ボールベッド提供



段ボールベッド1セットの組み立て例

本年度は多くの自然災害に見舞われ、被災されました皆様へ、謹んでお見舞い申し上げます。このたびの令和元年台風第19号に際しましては、経済産業省及び被災自治体からの要請を受け、全国段ボール工業組合連合会・東日本段ボール工業組合を通じて段ボールベッドを2,250台お届けさせて頂きました。

万が一の事態の際、避難されている皆様の安心と安全に少しでも役立てていただけるよう、全国各地の段ボール工場と近隣自治体とで「災害時物資供給協定」を締結しており、避難所で使用する段ボール製のベッド、シート、間仕切りを迅速にお届けしてまいります。

## バリア性を有する紙素材『SILBIO BARRIER』のサンプル提供を開始

プラスチックに替わる、更なる機能を備えた紙素材の開発の一環として、廃棄プラスチック削減に貢献する、地球環境に優しいバリア性紙素材「SILBIO BARRIER (シルビオ バリア)」のサンプル提供を開始しております。

SILBIO BARRIER は、紙素材でありながら、外部からの酸素や水蒸気などの侵入を防ぎ、内容物の劣化を抑える機能を持っており、内容物の香りや水分を保つ機能もあります。

食品から産業資材まで、バリア性が求められる幅広い包装用途にご使用頂けるよう、原材料を厳選して設計しております。食品接触用途では、日本製紙連合会の自主基準に沿って開発を進めており、更に、アメリカ食品医薬局(Food and Drug Administration, FDA)の使用認可リストに記載された物質のみを使用した銘柄も準備しております。

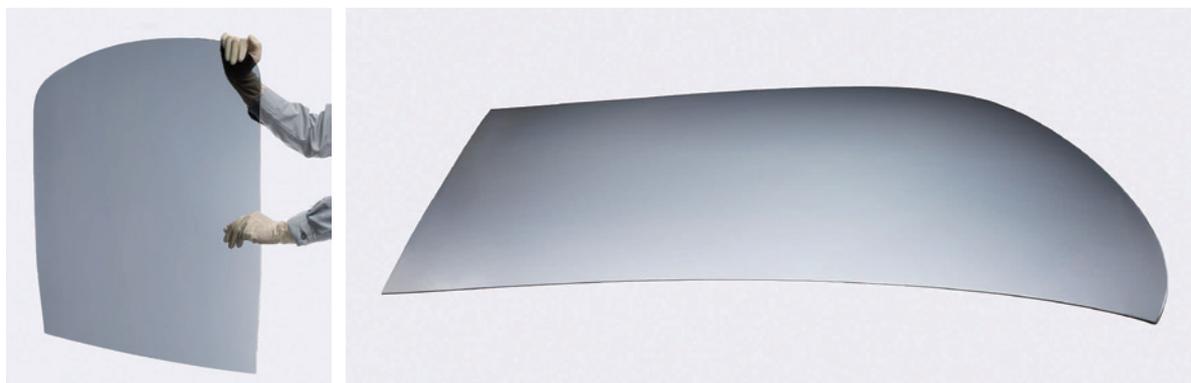


バリア性を有する包装材料

## セルロースナノファイバーを複合した樹脂ガラスへの技術提供

先日開催された東京モーターショー2019において、環境省の「NCV(ナノ・セルロース・ビークル)プロジェクト」の研究成果として、当社がトヨタ自動車東日本(株)に技術提供した「セルロースナノファイバーを複合した樹脂ガラス」が自動車に組み込まれた形で展示されました。樹脂ガラスは、無機ガラスに比べて軽量なため、自動車重量の低減効果が期待され、今回の取り組みではセルロースナノファイバーによる補強で、樹脂ガラスを大幅に薄肉化することができ、一層の軽量化が見込まれています。

当社は、「イノベーションの推進による革新的価値の創造」に取り組んでおり、今後も当社独自の技術を活用したセルロースナノファイバーの事業化に向けた開発に取り組んでまいります。



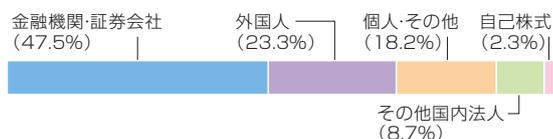
(左:リアウィンドウ部材、右:ルーフパネル部材 ※車体実装原寸サイズ)

### 株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行済株式の総数 1,014,381,817株  
株主数 63,916名

#### 所有者別株式分布状況



### 株式事務についてのご案内

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関  
郵便物送付先  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

(電話照会先)



王子ホールディングス株式会社

<https://www.ojiholdings.co.jp/>

